

キャラクター名
夜明 真宵 (よあけ まよい)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ		ワークス	FHエージェント	カヴァー	時と場合による	
	ハヌマーン					年齢	?? (14歳)
オプション	サラマンダー						
覚醒	無知	衝動		恐怖	初期侵食率	36	%
出自	天涯孤独	経験		大事故	邂逅	師匠	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	36
肉体	1		0	4		5	行動値	18
感覚	4		0	2		6	(非装備時)	18
精神	2		0	4		6	戦闘移動	23
社会	1		1	3		5	全力移動	46

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	10		交渉	4	
回避			知覚	3		意志	2		調達	5	
運転:			芸術:演技	10		知識:レネグイド	5		情報:UGN	2	
運転:			芸術:美的感覚	1		知識:心理	4		情報:FH	5	
運転:			芸術:			知識:医療	2		情報:噂話	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:ウェブ	3	

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	タス	消費
潜伏者ビハイド"ザ"マスク	P	N			
"クレオ"トラ"斧 小町	P	傾倒	N	恐怖	
"清姫"リ"金谷こなた	P	共感	N	憎悪	
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	20	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
光と闇の眼	1		常時					
効果: 隠密相手でも対象可								
無明の世界	4		Set	視界	シーン			
効果: ライト"間同I"ガ"ジ"のみ対象となる、リゾ4回								
神の眼	1	1	Re		自身	知覚		
効果: 知覚でドッジを行える								
リフレックスEn	2	2	Re		自身	シンドローム		
効果: C値-Lv (下限7)								
灼熱の結界	4	1	オート		自身			
効果: ガ"ド"時、ガード値+(Lv×2)								
氷盾	2	2	オート		自身			
効果: ガ"ド"時、ガード値+(Lv×5)								
蒼き悪魔	4	3	オート		自身			
効果: ガ"ド"時、攻撃キャラへ+(Lv×3) ダメ、ラウド1回								
氷雪の守護	2	3	オート		自身			
効果: ダメージ適用直前、(Lv+1)D点軽減、ラウド1回								
	★							
効果:								
主の恩恵	1	2	マイナ		自身			
効果: En判定D+Lvコ								
氷の加護	4	3	マイナ		自身			
効果: 今Sa攻撃力+(Lv×2)								
オプティカルレンズ	2	3	マイナ		自身			
効果: En単体攻撃力+感覚、シ"ルLv回								
光の衣	1	4	マイナ		自身			
効果: 今攻撃ReC値+1させる、リゾLv回								

FHエージェント "美BEAUTE (ビ"ボ"テ)"セルの一員。
 他人になり代わり、潜入工作を行う
 エ"ル"ハイロウで姿を欺き、ハヌマーンで声を変える
 驚異の演技力を見破るのは至難の業であり、本当の姿を誰も知らない
 学生服(学ラン)の高校生姿を好んで"本体"として使用している
 かなり冷静で話が通じるタイプではあるが、素は人を喰ったような話し方をするため、話をしたいと思えるような人物でも、好意をもたれるような人物でもない

ロードネームは戦闘時の大きな爆発音・光・熱がまるで花火のような様から。

"美BEAUTE (ビ"ボ"テ)"セル
 美しさを追求し続ける、イカしたFHセル。
 セルのメンバーは、各々の美を追求し続けている。
 ここに橋があるのは美しくない、という理由だけで一帯を吹き飛ばすような過激派テロリスト集団。
 話は通じない異世界人だと思うことだ、というのが、このセルを知ってる人間の言だ。

本体設定

幼い頃、レネグイドの暴走を引き起こし、周囲のもの全てを家族諸共吹き飛ばした。
 絶望の果てに出会ったのは絶世の美女だった。
 「美しい花火ね」忌まわしい能力をそう言って褒め称え、手を差し伸べた。

